

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	龍南會の役員選舉に關して : 龍南
Author(s)	岡本, 梅次郎
Citation	龍南會雜誌, 167: 84-89
Issue date	1918-06-20
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/6842
Right	

大に鑑みる所あれ。學生の本分は一意専心正規の學業に勉むるのみと言はゞ其迄ながら、天下の形勢を考察するは文藝に没頭する丈の餘裕にて十分ならずや其爲、修學を懈怠する懼は毫も無きのみならず此風漸く興れば諸種の惡弊は自ら消滅し、縦ひ滅消せずとも瑣末の事誠に言ふに値せざるに至り、眞に活氣ある校風茲に初めて現出せん。

最後に熱誠東亞の狀態を憂へ、身を以つて國に許すを期して生來三十九年家を成さず、稀有の偉才を抱きつゝ終に骨を異域に埋めたる一先輩を紹介し、世には嘗て斯る人も在りし事を回想して筆を擱かん。氏、姓は馬場、名は辰猪

龍南會の役員選舉に關して

一部三年乙 岡本梅次郎

龍南會の役員選舉に就いては從來種々の物議を醸し、それに伴ふ種々なる弊害に關しては從來色々な非難が有つたが其の弊害を深く感ずる人々の間には漸く役員選舉法の改正すら議せらるゝ様になつて來

た。今私が此問題に關して幾分の愚見を披瀝する事は必ずしも無益の業でも有るまいと思ふ。殊に前號の龍南會雜誌に荒卷君の御意見を見るに及んで更に其必要を深く感じたのである。君の御意見を讀んだ會友の中には、引かれ者の小歌だ位に見て餘り君の御意見に注意を拂はなかつた人もあつた様であるが私は慎重なる敬意の下に君の御意見を拜讀した一人であつた。然るに遺憾ながら日頃聰明を以て聞て居る君の御意見中に尙看過し難き多くの誤解と矛盾を見出して私は愈々默過するに忍びんのである。

私は現今行はれつゝある龍南會の役員選舉の形式に關しても、幾分の意見は有して居る者であるがさりとて今是を改正する程の不都合を感じない者である形式の改正よりも尙更に容易い方法で其弊害の一部を除き得ると信するのである。然れども是れとて未だ枝葉の問題であつて全く弊害を除く爲めには其の根本問題に溯らなければならぬ、即ち此弊害の依つて以て來る根本原因を研めねばならぬ、然らば此弊害の根本的原因を爲すものは何であらうか。私はそれは一般學生の選舉に關する無理解と不眞面とに

有りて信する、選舉の何物たるやを知らずして徒に選舉を玩ばんとするより生ずるのであると信する。

若し選舉の意義を眞に理解し、眞面目に選舉に従事する場合に於ては、現今の選舉法の下にも決して現に見るが如き弊害の起り得べき筈はない、選舉法改正の問題などは只枝葉の問題たるに過ぎぬであらう荷も高等教育を受けつゝある人に對して私が無理解不眞面目と稱せし所以を最も手近な例を以て、便宜上荒寒君の御高説を借りて少しく次に述べて見たい凡そ吾が龍南會では其會則に基き、役員選舉の前に豫め一定數の人々によりて一定の期間内に當該役員に適當と認むる人を推薦し、當事者は是等の人々を役員候補者として公示する事となつて居る、從つて選舉代理人は是等公示せられた候補者中から尙適當と認むる人々を物色して投票する事を要し、此限定せられた人々以外に出る場合には無効となる次第である、然るに荒寒君は此約法を無視して自ら總務候補と度々演說會の席上にのみならず、雜誌にまで公表して居らるゝのである、果してこれが總務の候補にでも打つて出ようとした人の言として受け納れ

らるゝであらうか、君は只總務候補に打つて出ようとした意志を有して居られたに過ぎないのである、君は君が稱するが如く候補者たる資格は有して居なかつたのである、是れでは選舉を解して居らるゝ人とは思はれぬ、同君は「予は現在の龍南選舉界に大なる不平を懷くものである、一大改革を叫ぶものである」と云はれ、「どこまでも理想を高唱したい」と絶叫して居らるゝ、誰しも此の理想此の熱心を持して居て初めて選舉其者も改善し向上し選舉の實を擧げ得べきものと信するので有るが、次で君は更に「予は熱心なる後援者諸君の厚き友情を無視し彼等を激昂せしめてまでも候補を辭した」と言明して居らるゝ、何たる矛盾の言葉であらう、果して是が理想を高唱し其改善に努力せんとする人の言として聞かるゝであらうか、是が眞面目に選舉に従事せらるゝ人の言として認容せらるゝであらうか、若し君にして眞に君の言明中に有るが如く龍南選舉界の覺醒を絶叫し、是が改善を試みんとする熱誠を有して居られたとすれば、其處に如何なる障害が有つたにせよ君は親しく選舉に従事して君の理想のために戦はる可き

ではなかつたか、私は更に茲に君の言を借りて其の無理解と不眞面目の例證とせねばならぬ事を遺憾とする、君は「予は候補を辭して以來いづれの黨派にも屬せず眞當の意味に於て嚴正中立であつた」と言明して居らるゝ、由來龍南の選舉界には大なる誤解ありて嚴正中立とは棄權を意味する事となつて居る私は當時の情勢よりして恐らく君も棄權せられた一人と思ふ、若し君にして棄權せられた事を以て嚴正中立だと稱して得々とせらるゝに於ては選舉に關する理解と其の不眞面目の態度を益々遺憾とせざるを得ない、一般選舉に於ける棄權は、病氣又は餘義なき事情のために其の選舉に参加し得られざるの外、現今進歩したる國民に於ては苟も自己の選舉權を空しく放棄する事は非國民的行動として見らるゝのである、高等教育を受けつゝある然も理想に燃ゆる君の言明の中にかゝ言葉を見出す事は甚だ殘念である私は今一般會友諸君の選舉に對する無理解と不眞面目を説かんとして無遠慮に君の言行を其の例証として誠に相濟まぬが、是を以て一般諸君の狀も推して知る可しだと思ふ。

若しそれ以上の欠點に加ふに例年の役員選舉に附き纏ふ地方的觀念より來る弊害に關しては沙汰の限りである、勿論此弊害に關しても眞に選舉を理解し眞面目に選舉に従事すればかゝる奇現象の表るゝ理は有るまいと信するのである。凡そ選舉に競争は付物であり又競争ありて初めて選舉なる物も有意義なのである、然るが故に強ち競争を非とすべきに非ずと雖も、地方的觀念より來る競争は最も愚也と云はざるを得ない。よし同一地方の出身者の間にありては平素の交遊よりして其の交友の人となりを良く識る便宜はあらんも只此の限られたる少數の人々の間よりして全校を代表する役員の適任者を物色せんとするは餘りに其眼界の狹隘なるを感ぜざるを得ない、況んや其人の役員として適任ならざるを認知しながら尙地方的情實の許に此人を推さんとするは誤れるの甚しき者である、必ずしも荒卷君の言の如く「甲が暗愚なりとする人も乙より觀れば偉大なる人であるかも知れん」といふ程人物に高低のある者でもなく、苟も高等教育を受けつゝあり且つ一團體からして推薦せらるゝ程の人にして龍南會の役員位の務ら

ぬ人はよも存在せざる可き事は余の固く信じて疑はざる處なるが、問題は廣く人材を會友の間に求め何等の情實因縁に依らずして適任者を物色する事を至當とするのである、選舉者も被選舉者も慎重なる考慮の許に選舉に従事する事を要し。例へば茲に或人が候補者として或一部分の人々から推薦せらるゝとも尙適任者と自己の認むる人が他にありとすれば先づ推薦者に其人物を指摘して更に考慮を促す事を必要とすべく、斯の如く先づ私心を除きて然して人物本位とする事は實に選舉の公平に行はるゝのみならず其間美しき徳の存在するのではあるまいか、若しかゝる精神の許に選舉の行はるゝ日の到達するに於ては現今見るが如き己役員の候補者たらん野心を有せしにかゝはらず大勢非にして野心の遂行を妨げらるゝや其當選者に難癖を附けて引かれ者の小歌などと嘲笑せらるゝ事はないのである、私はふと四月號新東洋紙上にあつた評論を想起するのである、英國カーゾン卿のサー、ロバート、ビールやウエリントン公に劣らぬ英國政治家たる所以は、卿が年來反對的態度を採つて居られた婦人參政權問題に關して一

度其法例の通過した以上は其好結果ならん事を希望し且つ擁護せる事にあり、として居る事である、私は此精神こそ望ましいものである、かゝる精神を以て投票の行はるゝに於ては必ずや選舉に於ても其實を舉げ得べき事を信じて疑はないのである、勿論自派から推薦した人の當選する与否とは別問題であるからである。

私は此の説の初めに於て比較的容易なる方法を以て選舉の弊害の一部分を除き得べき事を云つた今其の意見の主要を次に述べて見たい、元よりこれが此稿の志す所の主たるものである。龍南の選舉界に於ける競争に於て最も激甚を極むるは一年級選出選舉代理人の爭奪戰である、一年級選出の選舉代理人を自派に誘引する數の如何によりて略ぼ選舉の大勢は定るのである、一年級の新人會員諸君は未だ同一の級中にありても級友諸君の顔に見覺わが有る位のもので、親しく交情を結ぶだけの時間も經過せず會話さへ碌々交はす機會も有せないものである、従つて其級中から選舉代理人を選出するにも何人が其適任なるやも知らない、凡その見當で選出するのである、か

くて選出せられた代理人諸君も龍南會の内情も知らねば愈々役員選舉に當りて候補者の名も顔も知らぬ場合が多いのである、従つて上級生の指導を待たねば役員を物色する時に當つてお先眞暗なのである茲に於てか上級生は地方的因縁を頼りて代理人を自派に引入れんとする、甚しきになると代理人選舉に干渉を試みて自派に地方的因縁のある人を多數に得んと試みる、其間徒な選舉運動に浮身を擲す激烈なる爭奪戰を惹起するのである、此間幾多の弊害を醸して方々に悲喜劇を演ずる事となる、新入會員こそいゝ迷惑である、是が二年級三年級となると級内に於ける選舉代理人選舉の大勢は業に既に定つて居るのである、かかるが故に或團體と或團體との妥協の成立せざる限り選舉の競争は極めて無事平穩であり、且つ選出された代理人も一定の定見を有せる人々でもあり、役員候補者の人と爲りの幾分をも理解せる人々なるが故に、他からの指導を待つ迄もなく自己の見解の許に行動するのである、即ち此間弊害の起り得べき機會は少ないのである、尤も此間起る所の地方的感情の幾分は人情の然らしむる所もありて是れ

をしも公正なる選舉の行はれないといふ理由とは爲し得ないと信する、如何に地方的感情熾烈なりと雖も無暗に其適任者と思考せざる人を、高等教育を受けつゝ有る人々が盲目的に推薦するとは到底考へ得ざるからである、只に龍南會の爲めに不爲なるのみならず、自派より不適任者を選出すると云ふ事は其團體に取りても不名譽なるが故である、然らば此の幾分の地方的感情より來る弊害よりして適任者を得ざる懼れが無いかと云へば、私は懼れがない所ではない大にあると信する、以上は公平なる見地よりする當然かく有らねばならぬといふ議論を含んで居るのであるが實際の選舉に當りては、二年級三年級の會友間には地方的感情よりする行動の甚しきを知るのである、従つて最適任者を得るか如何かは甚だ疑問の存する所である、只一年級選出選舉代理人の爭奪戰に見るが如き弊害の存する事が少ないと云ふに過ぎない、若しそれ二年級三年級の選舉代理人諸君に有りても其の各人が本年の選舉に於ける中國派大分派、福岡派との間に見られしが如き互讓に依りて圓滿に解結し得るならんには、選舉は反つて各人の

間に理解の度を深め其交情を温め意外の好結果を得る事となるのであらう。かくて段々地方的觀念より生ずる弊害も減少する理である。

然らば現今最も其弊害の一たる一年級選出選舉代理人の爭奪戦より起る弊害は如何にして除去す可きで有らうか。私は此弊害を除去するためには宜しく選舉の期日を第三學期に延期すべきものと信ずる。即ち此間約一學期間延期によりて、新入會員諸君は龍南會の内情を知得する事を得、理解の程度の進むと共に一方級友間に於ける交情も進み、代理人として確固たる定見を有せる人を選出し得るのみならず、役員候補者たる可き人の性情も知り得て多大の便宜を得るのである、斯くの如く理解し一定の定見を懷くに至るや現今行はれつゝあるが如き爭奪戦は必ずや跡を絶つに至るべきを信じて疑はぬのである、此の選舉期日を延期するといふ事は實に弊害を除き得るのみならず尙更に他の良結果を伴ふ事を信ずる、現今に於ては役員の就任期間も中途半端である、即ち新任した前半期に於ては新役員の多くは二年級なるがために其の事務を見る爲めに、尙上級生の存す

るありて幾分の制肘と遠慮とを感じ其の貫目に於ても物足りない感を催す事を禁じ得ざる可しと信ずる若し是が新學年の開始と共に其の役員をしての任務を取るに於ては、かゝる顧慮を要せずして新役員としての手腕を充分に發揮し得て會の爲めにも役員自己の爲めにも多大の利益有るべしと思ふのである、若しかゝる制度を行ふ場合には新役員選舉終了の日より新學年開始に至る迄の期間を、其の役員事務の引續のためと前任役員の補助として從來の事務を知得する爲めに存在せしむる時は、第三學期に選舉を行ひて來學年の新學期より新役員が各部の任務を見る事に何等の不合理を感じる事なくむしろ多大の利益有るべしと信ずる、以上の大要に基き私は選舉期日を約一學期間延期する事を提議するのである。之に諸友の賛成を得ば幸甚であるが尙更に役員選舉の問題に關し諸友の慎重なる考案の許に其の弊害の除かれん事を希望して止まないものである。

私が此原稿に手を付けんとした時ふとした動機から、更に問題を大にして過去三年の、短いながらも龍南生活の経験に基き、龍南學生の氣風を論じて見たいと思つて一度は此稿を中止したのであるが、又々或事件から自分としては此稿の必要を感じて、切迫せる期日を前にして刻々物したものである、文の巧拙よりも其意を汲んで讀けば幸である。